SIMPHONY OF EVANGELION

エヴァンゲリオン交響楽

1997年7月6・7・8日

Bunkamura オーチャードホール

Shiro Sagisu: Artistic Director

Derrick Inouye: Conductor

New Japan Philharmonic

Hideaki Anno: Supervisor

NEON GENESIS EVANGELION

Oct. 6,1995~Jul.10,1997

www.tokyo3cn.com

www.tokyo3cn.com

エヴァンゲリオン交響楽

1997年7月6(日)・7(月)・8日(火)
Bunkamura オーチャードホール

音楽監督：鷺巣詩郎
指揮：デリック・イノウエ
演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団
監修：庵野秀明

主催：テレビ東京
企画：セラフ
協力：キョードー東京
協賛：EVA製作委員会　UCC上島珈琲株式会社

www.tokyo3cn.com

公演曲目 THE PROGRAM

第壱部 PART I

壱 ベートーヴェン 交響曲第九番 二短調 作品125 「合唱」より第四楽章(抜粋)

I L.V.BEETHOVEN:SYMPHONY NO.9 IN D MINOR OP.125 "CHORAL" 4th MOVEMENT(EXCEPT)

合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER Chorus
ヴァイオリン/落合徹也 Tetsuya Ochiai,Violin
ヴァイオリン/高橋直之 Naoyuki Takahashi,Violin
チェロ/柏木広樹 Hiroki Kashiwagi,Violincello
ヴァイオリン/川井郁子 Ikuko Kawai,Violin
ヴィオラ/大沼幸江 Sachie Ohnuma,Viola

弐 TOKYO-3
II C-7

編曲/鷺巣詩郎、天野正道 Shiro Sagisu,Masamichi Amano,Arrange
合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER Chorus

参 EVA-01
III E-3

編曲/斉藤恒芳 Tsuneyoshi Saito,Arrange
合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER Chorus

四 DECISIVE BATTLE
IV E-1

編曲/天野正道 Masamichi Amano,Arrange

伍 戦闘組曲
V SELECTIONS FROM ACTION THEME FOR "EVANGELION"

EVA-00 E-5
NERV A-3
A STEP FORWORD INTO TERROR E-9

編曲/天野正道 Masamichi Amano,Arrange

六 Rei I
VI A-1

編曲/服部隆之 Takayuki Hattori,Arrange
ピアノ/北るみこ Rumiko Kita,piano

七 RITSUKO
VII C-5

編曲/鷺巣詩郎 Shiro Sagisu,Arrange
ピアノ/クリヤ・マコト Makoto Kuriya,piano
ギター/マイク・ウィズゴウスキ Mike WYZGOWSKI,Guitar

八 I.SHINJI
VIII A-6

編曲/斉藤恒芳 Tsuneyoshi Saito,Arrange
合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER Chorus
ピアノ/北るみこ Rumiko Kita,piano

www.tokyo3cn.com

休憩 INTERMISSION

第弐部 PART II

九 「エヴァンゲリオン」クラシックス・メドレー
IX MEDLEY CLASSIC PIECE FROM "EVANGELION:DEATH"

バッハ 無伴奏チェロ組曲 第一番 ト長調 作品1007より前奏曲
J.S.BACH:SUITE NO.1 FOR VIOLINCELLO SOLO IN G MAJOR BWV.1007 I PRELUDE
バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第三番 ホ長調 作品1006より ガヴォット
J.S.BACH:PARTITA NO.3 FOR VIOLIN SOLO IN E MAJOR BWV.1006 III GAVOTTE & RONDO
パッヘルベル 三声のカノンとシーグ ニ長調
J.PACHELBEL:CANON A 3 ON A GROUND IN D MAJOR

1) 弦楽五重奏 QUINTET
2) 弦楽五重奏&RAP QUINTET & RAP
3) オーケストラ ORCHESTRA

編曲/鷺巣詩郎 Shiro Sagisu,Arrange
ヴァイオリン/落合徹也 Tetsuya Ochiai,Violin
ヴァイオリン/高橋直之 Naoyuki Takahashi,Violin
チェロ/柏木広樹 Hiroki Kashiwagi,Violoncello
ラップ/MALI MALI RAP
ヴァイオリン/川井郁子 Ikuko Kawai,Violin
ヴィオラ/大沼由江 Sachie Onuma,Viola

拾 THANATOS
X E-13

編曲/服部隆之 Takayuki Hattori,Arrange

拾壱 「エヴァンゲリオン」エスニック・メドレー
XI SELECTIONS FROM ETHNICAL THEME FOR "EVANGELION"

BORDERLINE CASE A-4
MOTHER IS THE FIRST OTHER A-10

編曲/鷺巣詩郎,篠原敬介 Shiro Sagisu,Keisuke Shinohara,Arrange
合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER,Chorus

拾弐 FLY ME TO THE MOON 作詩・作曲/バート・ハワード
XII FLY ME TO THE MOON MUSIC AND LYRICS BY BART HOWARD

編曲/鷺巣詩郎,マーティン・ラッセルズ Shiro Sagisu,Martin LASCELLES,Arrange
ヴォーカル/ローレン&???? LOREN & Special Secret Guest Singers
ピアノ/クリヤ・マコト Makoto Kuriya,piano

拾参 ヘンデル オラトリオ「メサイヤ」より「ハレルヤ」
XIII G.F.HANDEL:Hallelujah FROM MESSIAH

合唱/東京アカデミッシュカペレ TOKYO ACADEMISHCAPER,Chorus

作曲・音楽監督/鷺巣詩郎 Shiro Sagisu,Composer;Artistic Director
指揮/デリック・イノウエ Derrick Inouye,Conductor
管弦楽/新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic
監修/庵野秀明 Hideaki Anno,Superviser

プログラムは予定曲目です。出演者等の都合により、当日変更になる場合もございますことをご了承下さい。

www.tokyo3cm.com

Composer;Artistic Director

音楽監督

鷺巣 詩郎

Shiro Sagisu

1957年8月29日、東京都出身。

78年、T・SQUAREのメンバーとしてデビュー。作・編曲活動を始める。79年にソロアーティストとしてデビュー。3枚のリーダーアルバムを発表。

80年より、小泉今日子、中森明菜、中山美穂、クライズラー&カンパニーなど、多岐にわたるアーティストのレコード制作に作編曲家、音楽プロデューサーとして参加。作品数は2000曲以上にのぼり、セールス枚数は常にトップランクを保っている。

CM、映画、ゲームなど、幅広いメディアに作品を提供。映画音楽にF1ドキュメンタリー『ポールポジション』が、アニメ作品のスコアに『メガゾーン23』『ふしぎの海のナディア』等がある。

90年よりヨーロッパでの活動が増え、近年はイギリスのソウル、R&Bアーティストを多く手掛ける。96年にはRo-JAMレーベルを設立。ロンドン発のプロデュース作「MASH」「LOREN」が、日本国内でも好セールスを続けている。

作曲家

ジェネレーションの楔(くさび)

ビートルズとか美空ひばりじゃない。そんな大袈裟なやつじゃなくって、つまり「時代の象徴」とか、解散したり死んじゃったりすると「一時代の終焉」とか騒がれるのとは、ぜんぜん違って……エートそうじゃなくてサそんな表舞台からはチョット離れた所から、いや、キモチ斜め裏側から、いきなり寸分の狂いもなく正確に、しかもかなり冷徹に(ゴルゴ13じゃ!!)、ジェネレーションに楔を打ち込める人って居るモンです。

庵野さんって、そんな人だと思いません? ハイ、僕はそー思います。

例えば、80年代だったらトレヴァー・ホーンかなー、彼の〈アート・オブ・ノイズ〉とか〈グレース・ジョーンズ〉なんて、確実に打ち込まれたってなカンジだよね。90年代はなんつってもジョン・ガリアーノでしょ、やっぱ〈ジバンシー〉とか〈ディオール〉の老兵を、見事に狂気のアヴァンギャルドに塗り替えたもん。

モーツァルトもビートルズにしてもオリジナリティー(独創)のバケモノだからこそ確かに偉大だ。ぐうの音も出ない。キライなんて口が裂けても……。

でも、「自分のオリジン(起源)って何だろう?」もっと平たく言えば、「自分の好みの追究」かな、そんな雰囲気に世の中全体が傾いてきた。同じビートルズでも、こないだの再結成はカンペキに後者のパターンでしょ。色々やったけど、やっぱ好きだったのはコレって戻っちゃったんだもの。結局「オレはコレがこんなに好きなんだゾー!!」って開き直ってるスゴ味がありーので、何もかも脱ぎ捨てた「露出狂」的な狂気も同居してるのがいまはいちばんカッコイイかも。ただし完璧じゃないと、もんのすごくカッコ悪い。寸分の狂いもなく正確な「露出狂」でないとハズシちゃう。

サンプリングの醍醐味はもちろん「素材」選びにあるが、それだけでは単にオイシイだけで毒がない。その素材をスケベに弄りたおすという「行為」こそがホンモノの「サンプリング魂」であーる。

「素材」より「行為」が全面に押し出された〈新世紀エヴァンゲリオン〉で庵野さんは間違いなく同世代にむけ、その比類なき「サンプリング魂」を余す所無く発揮して、ひいては全ジェネレーションに楔を打ち込んだ。

曰く「エヴァ以前」「エヴァ以後」。こうやって、あとから分析するのはバカでも出来る。ボクでも出来る。スゴイのは庵野さん。あっ、コンサートの話してませんネ。ごめんなさい。

www.tokyo3cn.com

デリック・イノウエ

Derrick Inouye

1956年、カナダ・ヴァンクーヴァーに生まれる。

75年に来日、桐朋学園指揮科で秋山和慶、小澤征爾、尾高忠明の各氏に師事する一方、小澤征爾のアシスタントをつとめた。

81年、タングルウッドの指揮セミナーに参加、バーンスタイン、マルケヴィチらに学び、83〜85年の夏にはイタリア・シエナ音楽院でフランコ・フェラーラ氏に師事。この間、ジェームズ・レヴァインにも教えを受け、85年にはイタリアでの第4回ヴィットリオ・グイ指揮者コンクールで優勝。

81〜85年、ヴァンクーヴァー響の副指揮者を務め、同響の定期やトロント響などカナダ国内で数多く客演。85年〜90年、カナダ・レジナ響の音楽監督として活躍。86年からはニューヨークにも居を構え、メトロポリタン・オペラの副指揮者を務め、カナダ以外にも合衆国や欧州各地のオーケストラに客演している。

95年シュトゥットガルト放送管弦楽団を指揮、その後たびたび「カルメン」「ラ・ボエーム」「仮面舞踏会」等でシュトゥットガルトオペラにも客演。96年イギリスナショナルオペラの「フィガロの結婚」でロンドンデビュー。12回の公演は、"奇跡の才能""心に残る本当のフィガロ"と絶賛された。

今シーズンは、ニューヨーク・シティ・オペラで「フィガロの結婚」を指揮。同劇場では来シーズン「魔笛」の公演が決定している。

指揮者

www.tokyo3cn.com

comment

エヴァンゲリオン交響楽、客演参加のご挨拶

「新世紀エヴァンゲリオン」はアニメ大国日本おいて、まさに前代未聞の社会現象を巻き起こした。2年前にぼくがスタジオでエンディング・テーマの「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」を演奏したとき、一体誰がこのことを予測し得ただろうか？　ぼくはたまたま縁があって、劇場版のサントラにも参加させていただくことができた。すでに数枚リリースされているサウンド・トラックの売れ行きから考えても、「エヴァ」における音楽の役割は絶大だ。庵野監督は非常に音楽に造詣の深い方だと聞いているし、音楽監督の鷺巣詩郎氏は独創的でアイデアに満ちているという点で日本でも屈指の素晴らしいプロデューサーである。つまり今回のコンサート「エヴァンゲリオン交響楽」が全てのファンから待望されていたことは間違いなく、このようなコンサートに参加できることは、ぼくを初め全ての客演者にとって非常に喜ばしいことなのだ。

✣

このコンサートは言うまでもなくクラシック・オーケストラと合唱隊が主役で、十数名に及ぶ客演者もクラシックの名演奏家の方が多いが、中にはぼくのようなジャズ、ポピュラー畑のミュージシャンや、マーティン・ラッセルズ、ロレーンといった本場のR&Bアーティストも含まれている。まさに「エヴァ」という器があってこそ可能になった、意外な顔合わせだといえよう。出演者としては彼らとの音楽的邂逅を大いに楽しみたいと思っている。ご来場した皆さんは、今回のコンサート用に新たにアレンジが施されたものも含めて、ライブの迫力を十分に楽しんでいただきたい。

クリヤ・マコト/ピアニスト

Guest Musician

introducer—Shiro Sagisu

S I N G E R

????

(あけてビックリ当日のお楽しみ)

LOREN

ロレーン

現在22才の若さながら、幼少時から
教会のゴスペルコーラス隊(大リーグに近い)で鍛えられ、
磨かれた素晴らしい才能が遂に花開いた。先のシングルはイギリスに於て、各チャートを賑わせた。
ミニアルバム「フィクスーアップ!!」は日本でも入手可能。
プロデューサーとしてナント鷺巣も名を連ねている。

客演楽士

www.tokyo3cn.com

Eva Special STRING QUARTET+1

何で五重奏と言わないか？ 答はカンタン。「DEATH」をご覧あれ。
史上最強のメンバー!! このグループでも何度かエヴァ・レコーディングを行っている。

弦楽四重奏団+1

落合 徹也——ヴァイオリン
Tetsuya Ochiai

芸大卒。G-CLEFの解散は惜しい。
超技巧派っていうと本人は嫌がるだろうけど、彼の何気の試し、遊び弾きにはいつもドキッとする。
ソロに転向もしたし、いっちょやったれ!!
キューティーハニーでアニメに目覚める(極めてノーマル)とは本人の弁。

川井 郁子——ヴァイオリン
Ikuko Kawai

芸大卒。篠山紀信に撮られ週間現代の表紙を飾ったほどの美形。
「ウチの嫁に」的なジジ殺しかと思いきや、
ときめき夢サウンドでのファンレターは圧倒的に女性から。
しかもヴァイオリンも死ぬ程ウマイ!!という才色兼備の天然ボケ美人。
超天然記念物。

高橋 直之——ヴァイオリン
Naoyuki Takahashi

芸大卒。「POWER LIGHTS」で今年末にデビュー予定の23才の若き才能。
このエヴァ・スペシャルはヴァイオリン奏者が3人ともそれぞれCDを出してるってのがスゴイ。

大沼 幸江——ヴィオラ
Sachie Ōnuma

芸大卒。わが国では演奏に信頼がおける(平たく言うと上手ってこと)
ヴィオラ奏者はホント少ない(平たく言うと下手ってこと)。
しかし彼女はウマイ。

柏木 広樹——チェロ
Hiroki Kashiwagi

芸大卒。レコーディング時からシンジ君のチェロをささえてきたのは誰あろう、この柏木だ。
こう言うと声優さんみたい。
「DEATH」録音時、庵野さんが「前売り完売」「下痢のシーン」とかプレッシャーかけてたっけ。
彼もG-CLEFのメンバーだった。

www.tokyo3cn.com

Guest Musician

客演楽士

P I A N O

クリヤ・マコト
Makoto Kuriya

エヴァ・レコーディングの常連。
大森俊之氏アレンジの「FLY ME TO THE MOON」から、鷺巣アレンジのものまで、
まさにエヴァ・サントラ必需ピアニスト。
ところで、演歌衰退が言われて久しいけどジャズも何とかして欲しい。もちろんマコトの才能で。

北 るみこ
Rumiko Kita

エヴァ・レコーディングには「DEATH」サントラから登場。
庵野さんのピアノ好きが高じて、なんとこの時は
ダブル・ピアニスト＋オケの同録という豪華版となった。
鷺巣としては、森雪之丞バンド時代のるみちゃんがチョット懐かしい。

GUITAR ; TRANSLATION&LYRIC

Mike WYZGOWSKI
マイク ウィズゴウスキ

マイクは元来とても優秀なソングライター。
イギリスではヒットチャートの常連。
アメリカでもビルボード全米ダンスチャートNo.1に彼の作品が輝いた。
エヴァでは庵野さんの詞や世界観を英訳して、何曲かの英詞ヴァージョンを作った。

R A P

MALI
マリ

「エヴァにラップ!?」とお思いでしょうが、どの曲に入るのかは当日のお楽しみ……
ストーリーをたっぷりと説明した後に出来上がってきた彼のラップには聖書の引用も。
ロンドン南のブリクストンではこの間も暴動があったけど、そこに住む彼はイイ奴。

www.tokyo3cn.com

Arranger

鷺巣 詩郎
Shiro Sagisu

ゲストではないが「エヴァ展」は荻窪駅ホーム上の喫茶店(当然もう無い)で
庵野さんに前説を聞いて以来もう3年。
今回は映画版の書きもあってアブナイので以下各氏に編曲を依頼した。
田中公平氏に「ヒマでもやらん」と断られた嫌われ度No.1編曲家

Martin LASCELLES
マーティン ラッセルズ

英国人コンポーザー、プロデューサー。
鷺巣詩郎の相方。ホモではない。仕事上の。ビルボードNo.1も持つ超人物
今回は二人の素晴らしい女性シンガーを
鷺巣詩郎と共に「エヴァンゲリオン交響楽」の為に調教した。
やはりホモではないのだ。

天野 正道
Masamichi Amano

彼の書いた〈シャイアントロボ〉を初めて聴いた時「あ、良いなぁ」って
スグ思った。初対面で確認したらやっぱり同世代だった。
二人共きんぎんチクロを与えられ育ったもんだから
感じる「旨味」も一緒とは、ウレシイ。でもチクロは悄けなかった。

服部 隆之
Takayuki Hattori

弓わずと知れたサラブレット。父克久氏にはレコ大の時
「コラッ!! サギスー、スカート履いて指揮すなー」と叱られたが、
隆之氏がスカート履いたらやっぱ叱られるだろうな。
彼とは偶然出くわす事が多い ロシア上空、ロンドン、丸井前、メシ屋。赤い糸かも。

斉藤 恒芳
Tsuneyoshi Saito

クライズラー&カンパニーの登場は衝撃的だった。
当初、鷺巣80%、恒20%で譜面を書いていたが、すぐに逆転した。
編曲して譜面を書くという事は文章と違い誰にでも出来る事ではない
恒が書いたミラノスカラ座室内楽があまりに素晴らしく
僕と彼女は感動で涙した 逸材である。
同級の広瀬香美は編曲については恒の爪のアカが必要。

Special Guest Appearance

緒方 恵美

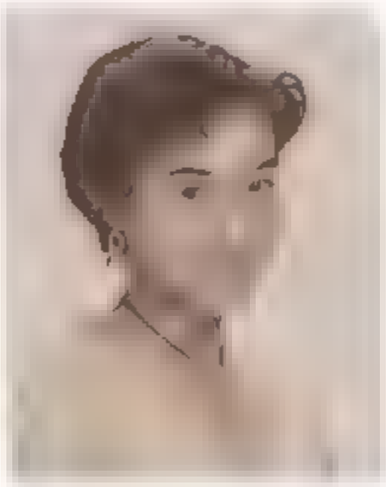
Megumi Ogata

6月6日生まれ　青　プロダクション所属　東京都出身　血液型B型。レギュラーデビュー作『幽☆遊☆白書』で何百年も生きている妖怪にして美少年・蔵馬を演じ、特に女性ファンから絶大な指示を受ける。続く『美少女戦士セーラームーンS』では　王子様の男性的な魅力あふれる天王はるかを演じ、その人気を不動のものとした。微妙な息遣いを基調とする巧みな芝居づくりには定評があり、本作の綾シンシ役でも、繊細な少年の心情を見事に表現して、その実力は遺憾なく発揮した。ラジオ、CDでも活躍中。今夏公開の映画『タイム・リープ』の主題歌も歌っている

三石 琴乃

Kotono Mitsuishi

12月8日生まれ。アーツビジョン所属。東京都出身　血液型A型。現在の第3次声優ブームの立役者にして牽引役。『美少女戦士セーラームーン』の月野うさぎ役での生き生きとした台詞回しは、アニメファンのみならず広く一般に浸透したことは記憶に新しい。本作は、うさぎ役に代表されるような明るい役柄の多かった彼女の、新たな代表作といえる。葛城ミサト役では、子供らしさを残した大人の女性という、アンバランスな生々しさを確実に表現し、人気に負けない実力者ぶりを印象づけた。劇団あかべぇ可能楽部での舞台活動も熱心にこなし、芸域を広げている



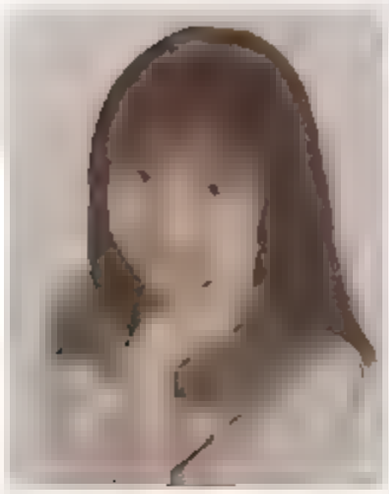
山口 由里子

Yurico Yamaguchi

11月21日生まれ。81プロデュース所属。大阪府出身。血液型B型。本作が初めてのアニメレギュラーであった彼女　そのこなれた演技は、赤木リツコ博士の、感情を押し殺したような冷徹な部分を表わしていた。また、実年齢と近いことも手伝って、演技だけではない、生身の部分と錯覚させるような雰囲気が醸し出されていたように感じ、ファンも少なくなかろう。本作以前は、人形劇や日中合作の芝居など、主に舞台で活躍していた。他に『パケツでごはん』のミケミ、『美天使伝説　ウェディングピーチ』のカチューシャ、『新・天地無用！』の真鳥など

www.tokyo3ca.com

特別出演



林原めぐみ

Megumi Hayashibara

3月30日生まれ。アーツビジョン所属。東京都出身。血液型O型。人気実力ともに当世若手声優の第一人者。現在の第3次声優ブーム以前より人気を誇り、いわゆるブームの牽引役を果たした存在。声優だけでなく、ラジオパーソナリティ、歌手としても活躍。CDアルバムは常にベスト10に名を入れる。その姿は、まさに声のプロフェッショナルという言葉が相応しい。あらゆる役柄を演じ分けるが、あえていえば、『スレイヤーズ』シリーズのリナといった陽性の少女を得意とする。それだけに今作の寡黙な少女・綾波レイは、彼女にとっても大きな挑戦であった。

宮村 優子

Yūko Miyamura

12月4日生まれ。M・Tプロジェクト所属。長崎県出身。血液型O型。現在もっとも人気を集めている若手声優のひとり。本作の惣流・アスカ・ラングレーが、彼女がブレイクする、その大きなきっかけになったことに、疑義を挟むものはいないだろう。アスカはもとより、『愛天使伝説ウェディングピーチ』のひなぎくなど、勝気な女の子役が彼女の持ち味である。ラジオ番組『宮村優子の直球でいこう！』、書籍『根性戦隊ガッツマン』、CDアルバム『ケンカ番長』など、熱血ぶりを強調した独特のメディア展開も話題になった。代表作は他に『ぱいぱーぽりす』の夏姫など。愛称はみやむ。

長沢 美樹

Miki Nagasawa

7月11日生まれ。東京俳優生活協同組合(俳協)所属。福島県出身。血液型A型。現在人気上昇中の若手声優。『KEY THE METAL IDOLE』の周防きくりや『勇者指令ダグオン』のマリアといった元気少女から、OVA『地獄堂怪奇通信』のリョーチンのようなこずるい男の子まで、幅広い役柄を見せて、今後の活躍が期待される。特に『機動新世紀ガンダムX』のハーラ・シスはその弾けた演技が印象的。本作では光ベレーターの伊吹マヤを演じ、目立った活躍はないながら、その女の子らしさが清涼剤となっていた。劇団ヘロヘロQカムパニーでの舞台や、ラジオパーソナリティーでも精力的に活動中。

www.tokyo3en.com

PROGRAM NOTE

曲目解説

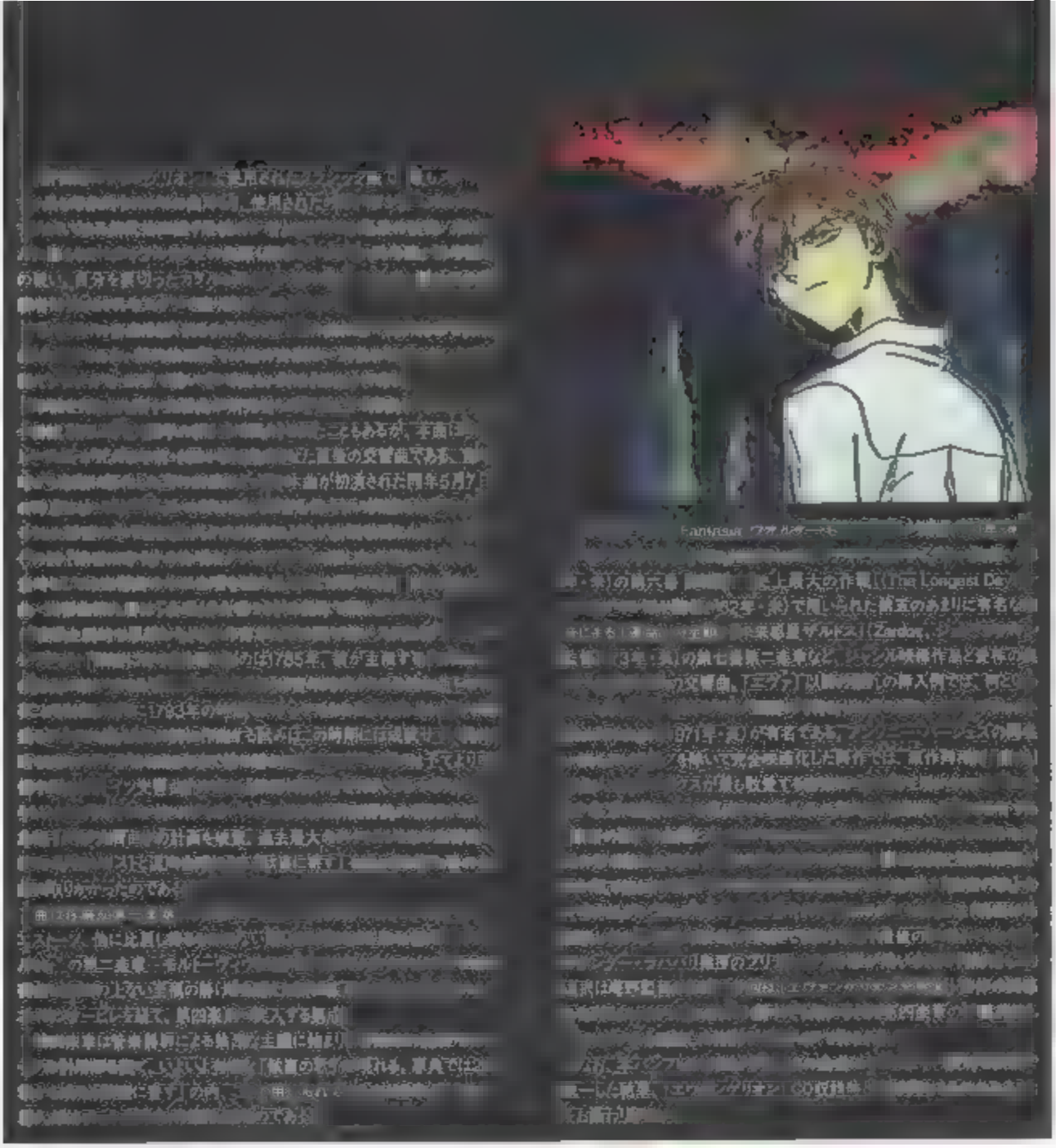
早川　優
小黒祐一郎

第壱部
PART I

I

曲目 ベートーヴェン　交響曲第九番 二短調
作品125「合唱」より第四楽章(抜粋)

L. V. BEETHOVEN : SYMPHONY NO.9 IN D MINOR
OP.125 "CHORAL" 4th MOVEMENT (EXCEPT

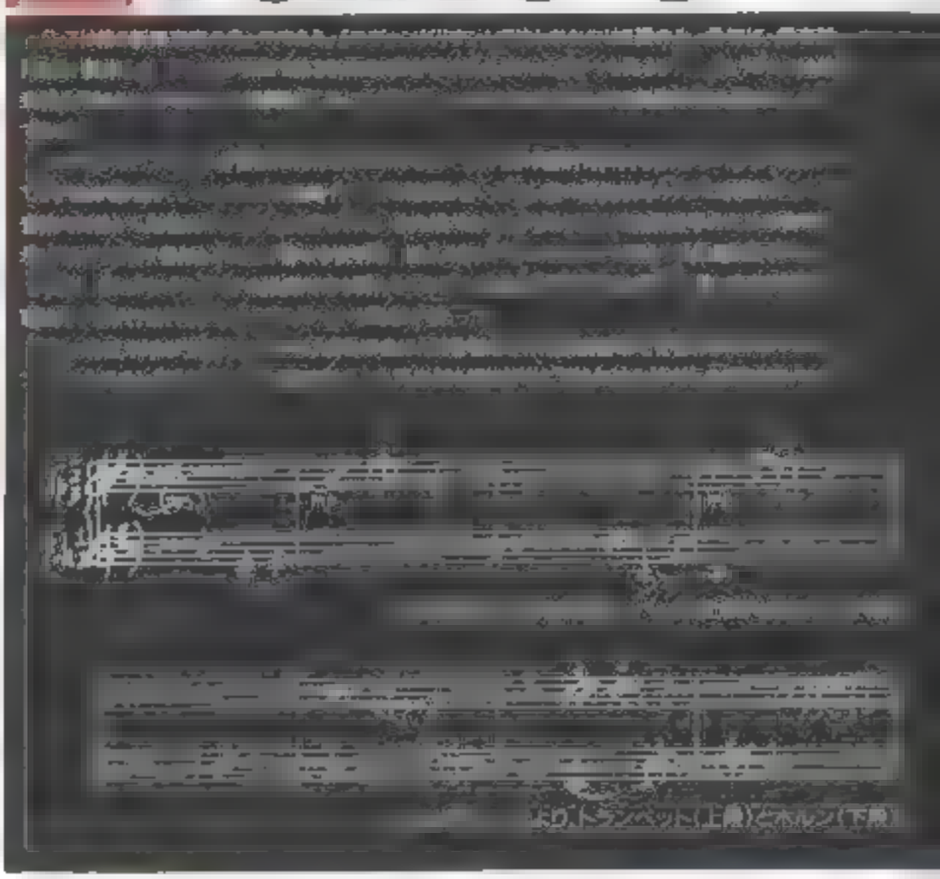


www.tokyo3cn.com

(*Bariton solo*)
O Freunde,nicht diese Töne
Sondern lasst uns
angenehmere anstimmen
und freudenvollere
(*Bariton und Chor*)
Freude! Freude
Freude,schöner Götterfunke
Tochter aus Elysium
wir betreten feuertrunken
Himmlische,dein Heiligtum
Deine Zauber binden wieder
was die Mode streng geteilt
alle Menschen werden Brüder
wo dein sanfter Flügel weilt
Deine Zauber usw.
(*Quartett*)
Wem der grosse Wurf gelungen
eines Freundes Freund zu sein
wer ein holdes Weib errungen
mische seine Jubel ein
Ja,wer auch nur eine Seele
sein nennt auf dem Erdenrund
Und wer das nie gekonnt,der stehle
weinend sich aus diesem Bund
(*Chor*)
Ja,wer auch nur eine Seele usw.
(*Quartett*)
Freude trinken alle Wesen
an den Brüsten der Natur
alle Guten,alle Bösen
folgen ihre Rosenspur

II C-7

TOKYO-3



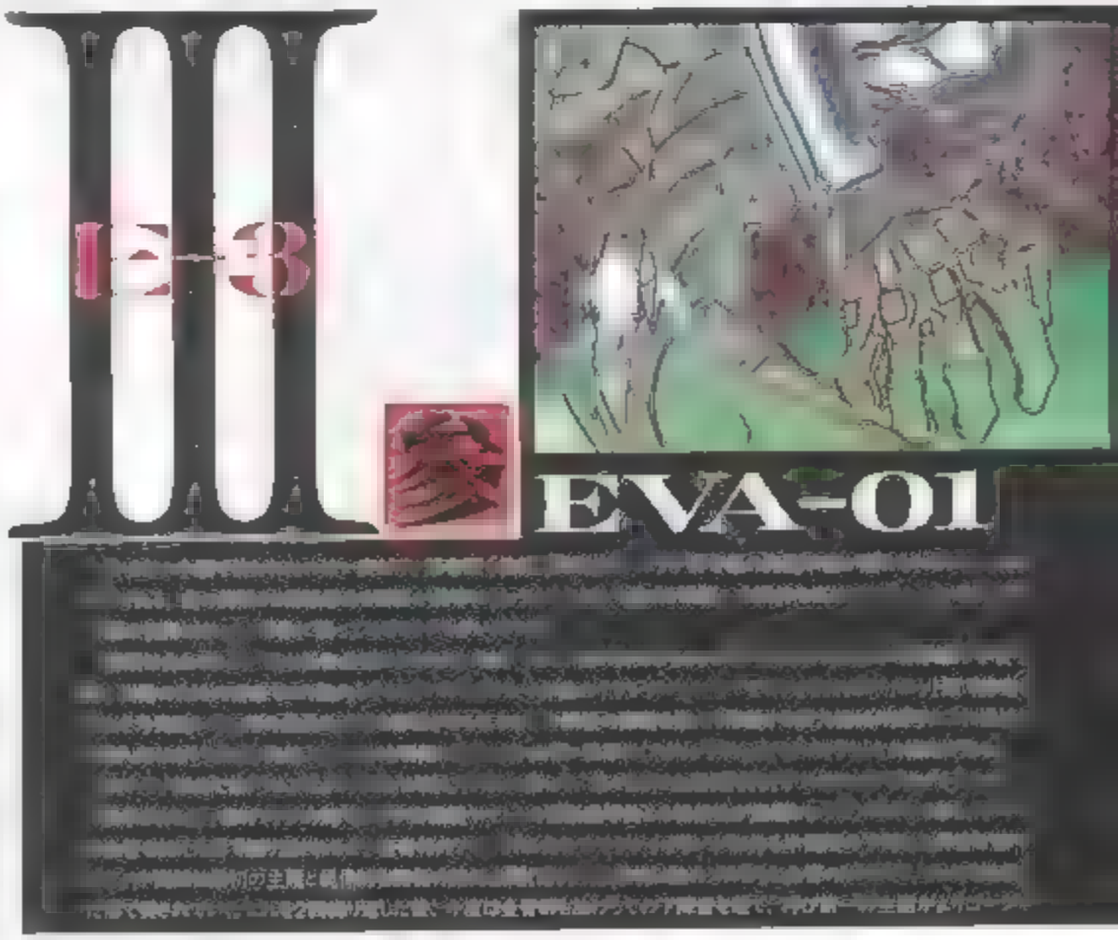
トランペット(上段)とホルン(下段)

www.tokyo3cn.com

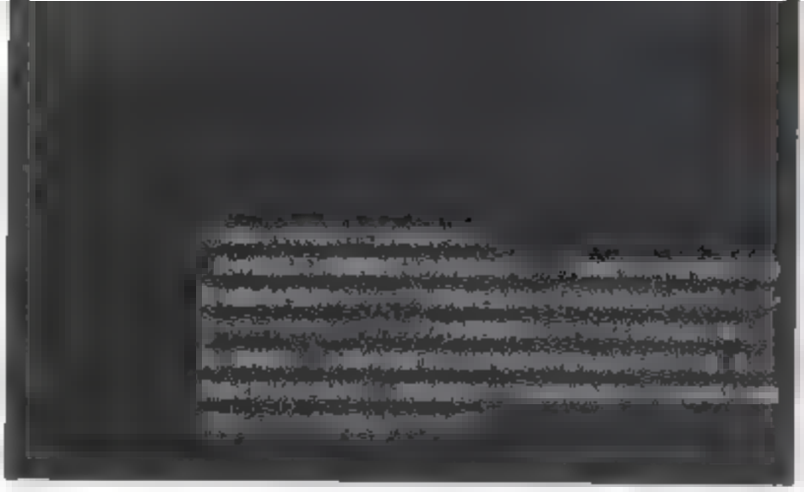
（テノール・ソロ）
わかるよ、これらの音でなくて
[illegible]快いものに
[illegible]を合わせよう
[illegible]と喜ばしいもの[illegible]
（テノール・ソロと合唱）
歓喜よ、歓喜よ、
歓喜よ、美しい神の閃光、
楽園から[illegible]の娘よ！
[illegible]は熱情に[illegible]
[illegible]に、汚の聖殿に踏み入ろう！
[illegible]魅力は世の慣[illegible]により
厳しく引きはなされたものを再び結びつける
汚のやさしい翼のとどまるところ
すべての人々は兄弟となる
[illegible]魅力は
（四重唱）
大きな贈物をうけたものは、
[illegible]の友たり
[illegible]しき妻をえた者は、
歓神の声を和せよ！
そうだ 地上にただ一つの魂を
[illegible]分のものと呼んでいる者でも！
そしてこれを今まで知ったことのない者は、
[illegible]き涙をこの群れから去れ
（四重唱）
[illegible]地上にただ一つの魂を[illegible]
（四重唱）
歓喜をすべての[illegible]ものは、
[illegible]性の乳房から飲み
すべての良きもの、すべての悪しきものは
[illegible]のばら咲く路を辿る

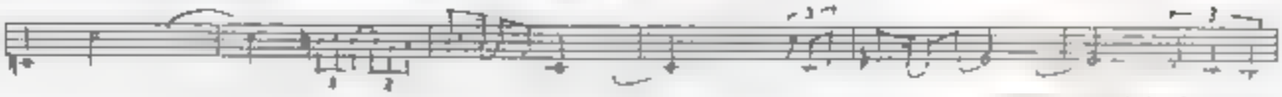
Küsse gab sie uns,und Reben,
einen Freund,geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
und der Cherub steht vor Gott
(*Chor*)
Küsse gab sin uns,und Reben usw
(*Tenor-solo*)
Froh wie seine Sonnen fliegen
durch des Himmels prächt gen Plan
laufet Brüder,eure Bahn
freudig wie ein Held zum Siegen
(*Tenor-solo.Chor*)
Laufet,Brüder,eure Bahn,usw
(*Chor*)
Freude,schöner Götterfunken,usw
Seid umschlungen,Millionen!
Diesen Kuss der ganzen Welt! usw
Brüder überim Sternenzelt
muss ein lieber Vater wohnen usw
Ihr stürzt nieder,Millionen?
Ahnest du den Schöpfer,Welt?
Such ihn überim Sternenzelt
Über Sternen muss er wohnen usw
Freude,schöner,Götterfunken,usw
Seid umschlungen,Millionen,usw
Ihr stürzt nieder Millionen? usw
(*Quartett*)
Freude,schöner Götterfunken,usw
(*Quartett Chor*)
Deine Zauber binden wieder usw
(*Chor*)
Seid umschlungen,Millionen! usw

それは、われらに接吻と酒をあたえ
死の試練をへた友をあたえる、
虫けらにも 快楽はあたえられ、
そして天の使いは神の前に立つ！
（合唱）
それは、われらに接吻と酒をあたえ[illegible]
（テノール・ソロ）
楽しく、神の多くの太陽が、
天空の壮麗な面を[illegible]ごとく、
走れ 兄弟たちよ 汚らの道を
喜ばしく、英雄が勝利に赴くように
（テノール・ソロと合唱）
走れ、兄弟たちよ、汚の道を[illegible]
（合唱）
歓喜よ、美しい神の閃光[illegible]
抱擁されよ、何百万の人々よ！
この接吻を全世界にあたえよ！
兄弟たちよ！ 星の天幕の上には
愛する父がおわす[illegible]
地にひれ伏すか、何百万の人々よ？
造物主を探めるか、世界よ？
星の天幕の上に彼を探めよ！
星の彼方に彼はおわす……
歓喜よ 美しい神の閃光[illegible]
抱擁されよ、何百万の人々よ！
地にひれ伏すか、何百万の人々よ？ [illegible]
（四重唱）
歓喜よ、美しい神の閃光[illegible]
（四重唱と合唱）
汚の魔力は世の慣[illegible]により
（合唱）
抱擁されよ、何百万の人々よ！

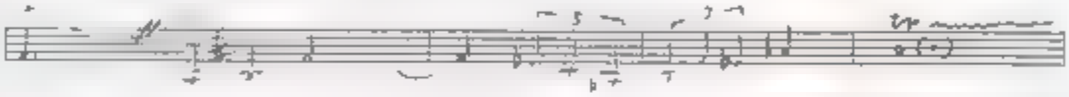


www.tokyo3cn.com



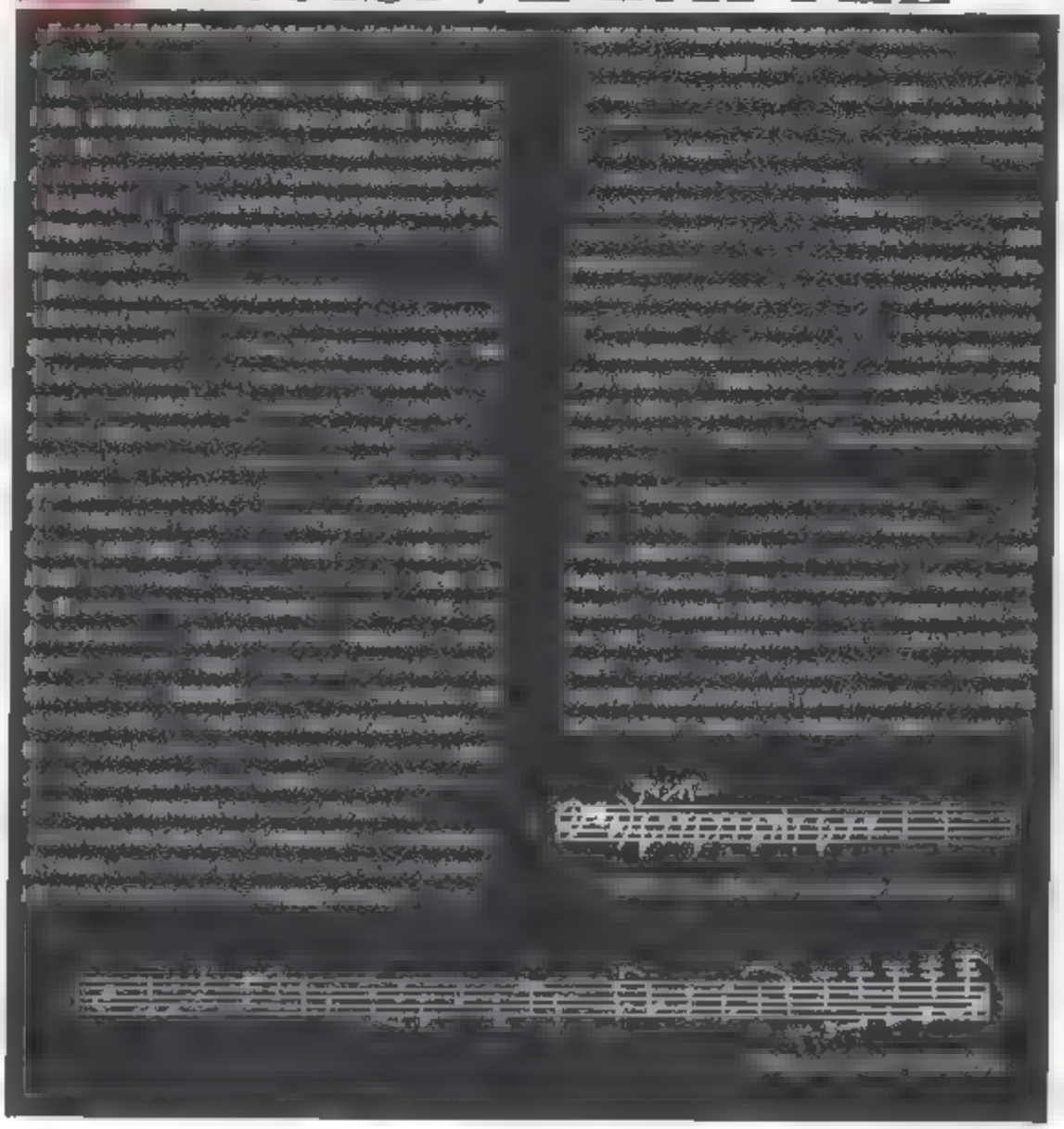


E 3より ヴァイオリン



E 3より、ヴァイオリン

IV DECISIVE BATTLE

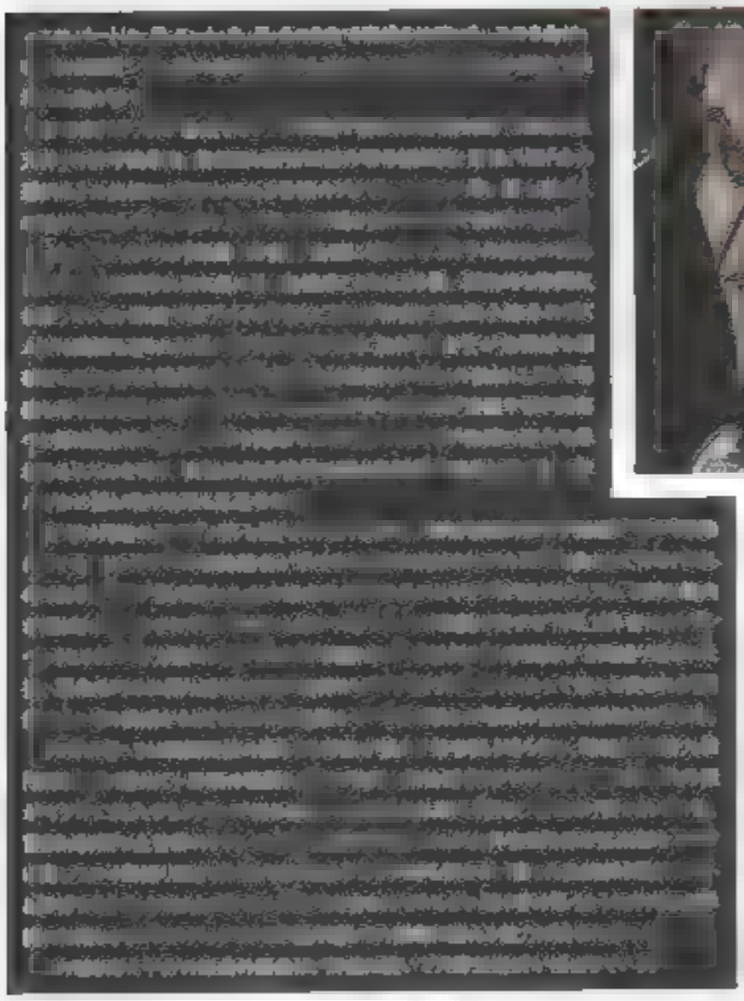


www.tokyo3cn.com

伍戦闘組曲

SELECTIONS FROM ACTION THEME FOR "EVANGELION"

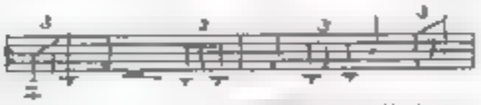
EVA 00 E-5
NERV A-3
A STEP FORWORD INTO TERROR E-9



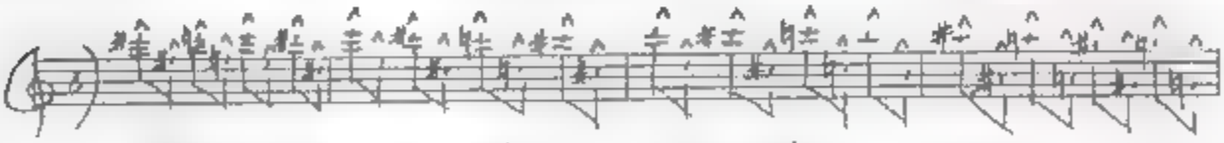
E-5より チェロ

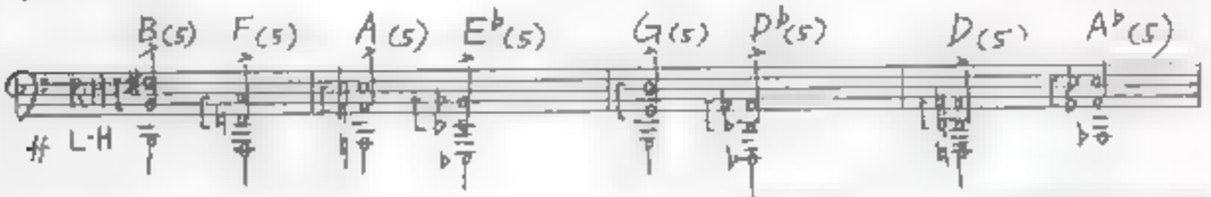
A-3より トランペット

E-9より トランペット

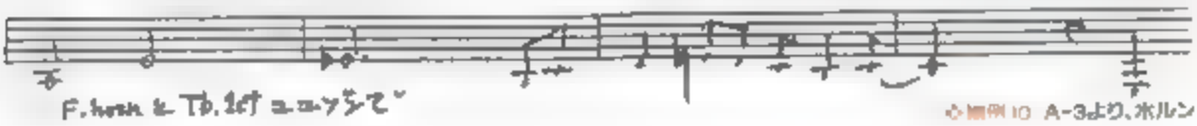


E-9より、ホルン





E-6より、ヴィオラ(上段)とピアノ(下段)



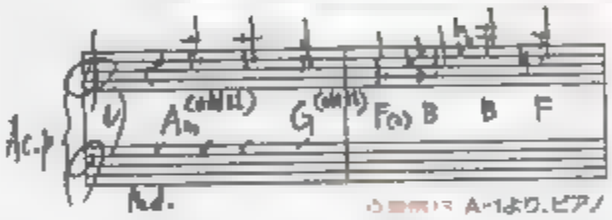
♡譜例10 A-3より、ホルン

www.tokyo3en.com

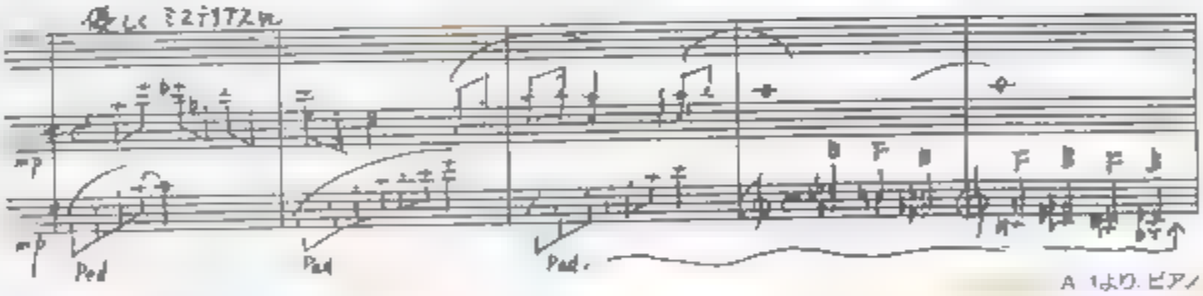
VI

Rei I

A-1



A-1より、ピアノ



A-1より、ピアノ

VII C-5

RITSUKO

C-5の原曲は、フォーク・ギターとアコースティック・ピアノだけで演奏されるシンプルなナンバー。録音時のメニューでは「静かに想いをめぐらせる(やさしくなく、もり上がらず、淡々と)」とされている。サントラ盤収録タイトルが示す通り、本編ではいずれもリツコに関連したシークエンスで用いられている。

最初の使用は第九話において、関係各省からの膨大な書類の山と対峙するミサトにリツコが使徒殲滅のアイディアを届ける場面と、加持が原因でブルーになるミサトをリツコがからかう場面でそれぞれ使用された。また、第拾伍話「嘘と沈黙」では、加人の結婚式に誘って出席した加持、ミサト、リツコの3人が、式後にグラスを傾けるバーのシーンに流れていた。いずれもリツコの淡い女心が本曲に託されて表現されていた。

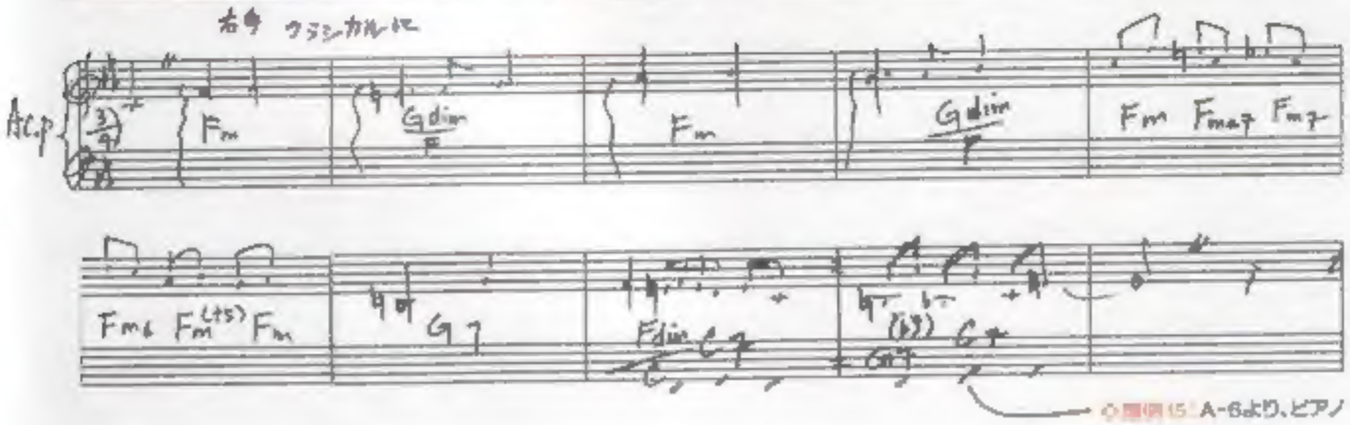
「キース・ジャレット風の抒情的フレーズで」との指定とコード進行以外、基本的に演奏者に任されていた本曲。今回のコンサートでは当初、前曲「Rei I」の中に組み込まれる予定だったが、最終的に独立した形で演奏されることになった。葉加瀬氏本人のリ・アレンジにより、リツコはどんな表情を見せてくれるだろう。

VIII A-6

I. SHINJI

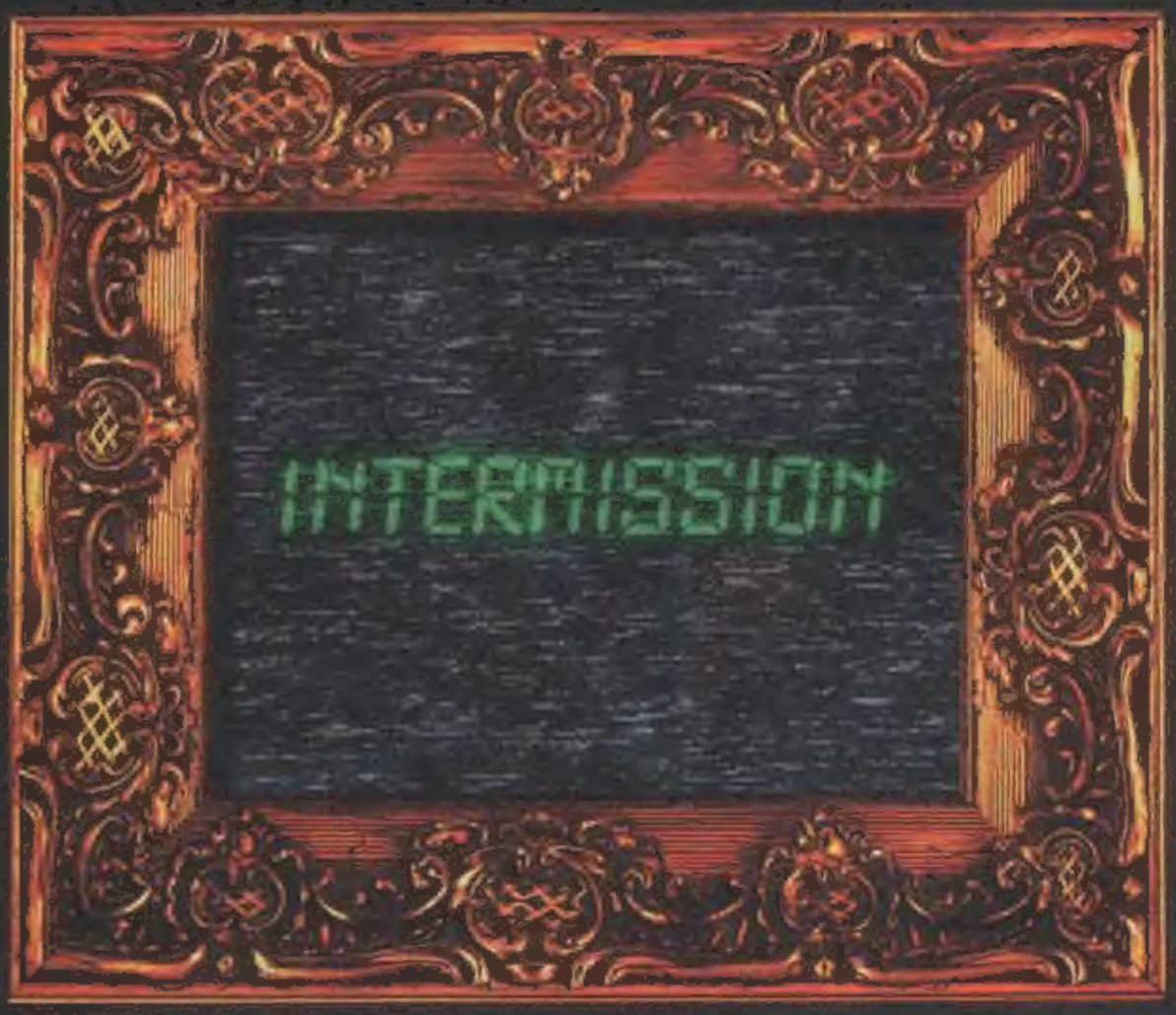
実は使徒のテーマとして作られた経緯のあるA-6も、本編で使われたのは第壱話だけ。ただ、これもファンには印象的な曲のひとつである。キルフ本部に使徒が迫る。ゲンドウやミサトは、エヴァ初号機に乗れとシンジに言う。だが、シンジはそれを拒否する。だが、誰もシンジの気持ちを思いやってはくれない。

弦楽器によるボレロのリズムに乗って、沈痛な表情を呈したメロディ[譜例15]がピアノによって切々と綴られていく。第壱話では、後半部の音調の上下動を含みつつ落ちていく旋律がシンジの悲痛な心に見事にシンクロしながら、迫る危機をも描写していた。主題は、トランペット・ソロ、ストリングスへと受け継がれて終結部へ向かう。今回は斉藤恒芳氏のアレンジにより、合唱付きで演奏される。



譜例15 A-6より、ピアノ

www.tokyo3cn.com



www.tokyo3cn.com

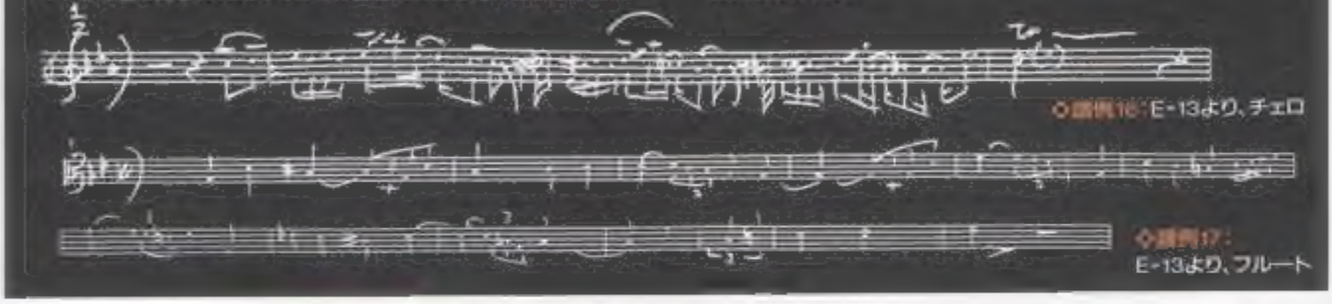
E-13 X 拾 THANATOS

「エヴァンゲリオン」の劇中音楽は、2回に分けられて録音されている。今回のコンサートで演奏される「エヴァ」のオリジナル・スコア中、このE-13が唯一の第2回録音分からのナンバーである。

本編での数回の使用例の内、鮮烈なものとして心に残るのは第拾九話「男の戦い」の中盤シーンである。エヴァを降りたシンジに加持が語りかけ、レイは使徒に対して身の攻撃をかける。そして、エヴァに乗るために走り出すシンジ……。低弦楽器群が奏でる哀しみに満ちた主題[譜例16]とピアノが冷徹に刻むリズムが、その本作品最大の見せ場の緊張感を最大限に高める役割を果たした。ある意味で、今回のプログラムでは第壱部で演奏される「I. SHINJI」と対になる楽曲と言えるだろう。

音楽は後半部で大きな展開を見せる。先の弦楽セクションとリズムで綴られたパートが2回繰り返された後、「エヴァ」では珍しい母音のフルートが全管を従えて、シンジの決意を示すようなニュアンスを湛えた第2主題[譜例17]を奏していく。その後を高弦の下降音型が追う構成も美しい。

極めてライブ効果の高そうな一曲だけに、服部氏による編曲の仕上がりも実に楽しみである。



◇譜例16：E-13より、チェロ

◇譜例17：E-13より、フルート

XI 拾壱 「エヴァンゲリオン」エスニック・メドレー

SELECTIONS FROM ETHNICAL THEME FOR "EVANGELION"

BORDERLINE CASE　A-4
MOTHER IS THE FIRST OTHER　A-10

『エヴァンゲリオン』は、シリーズの後半から『人の心』というテーマが前面に表現されるようになった。登場人物の内的宇宙が舞台になる事も多く、A-4とA-10は常に内的宇宙のシーンで使用された。

シンセのヴォーカリーズとパーカッションのみで演奏されるA-4は、第拾四話「ゼーレ、魂の座」Bパート最初の、「山、重い山。空、青い空……」というレイのモノローグで始まる彼女の内的宇宙でのシーンがファンには印象的だろう。他には、第拾六話「死に至る病、そして」、第弐拾話「心のかたち　人のかたち」、第弐拾伍話「終わる世界」、最終話「世界の中心でアイを叫んだけもの」のシンジの内的宇宙のシーンで使用。ヴォーカリーズのパートのみを抜き出したA-4シンセボイスのみ(「Do you love me?」)も、第弐拾話、最終話等で効果的に併用されている。間違いなく『エヴァンゲリオン』を代表する音楽の一つである。

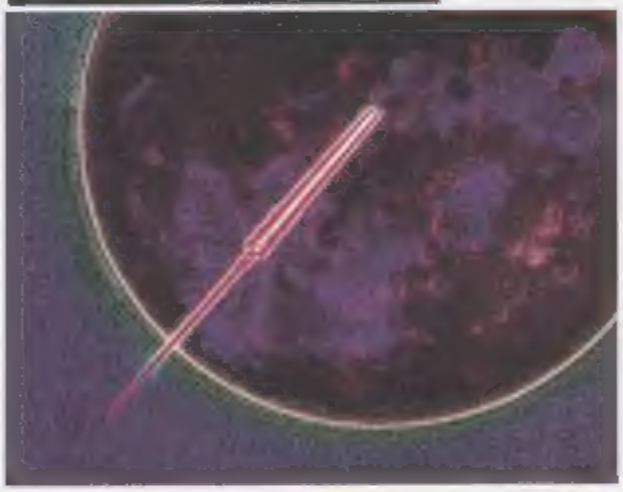
一方、A-10は、第拾六話「死に至る病、そして」と第弐拾話「心のかたち　人のかたち」で、ともにシンジが内的宇宙で母親のイメージに触れるシーンで使用された。ブルガリアン・ボイス風のシンセ・ヴォーカルが、重厚なシンセのハーモニーに乗ってノスタルジックに広がっていく。こちらもヴォーカルのみのヴァージョンが存在し(アルバム収録タイトル「Splitting of the Breast」)、最終話で完全な空白(自由)の内世界をシンジが浮遊するくだりに用いられている。

これら、オリジナルではシンセを中心に形作られた楽曲が、フルオーケストラと生の合唱によっていかなる新世界を見せてくれるか、ファンにとって興味は尽きないことだろう。

www.tokyo3cn.com

XII

FLY ME TO THE MOON
MUSIC AND LYRICS BY BART HOWARD



拾弐 FLY ME TO THE MOON

「エヴァンゲリオン」の名話のエンディングテーマである「FLY ME TO THE MOON」は、有名なスタンダード・ジャズ・ヴォーカルのカバーである。

'54年にフェシリア・サンダースによって初めて歌われた際は「IN OTHER WORDS」のタイトルで、リズムもワルツを基調としたものだった。吹き込みはフェシリア・サンダースではなく、ケイ・バラードがデッカで同年に行っている。やがて、ジョー・ハーネルが現在の曲名に改題、リズムもボサ・ノヴァに改めた'62年のキャップレコード版が大ヒット(同年のグラミー賞を最優秀ダンス音楽部門で受賞)。その後、'65年のトニー・ベネット、カウント・ベイシー楽団とフランク・シナトラなど、スタンダード・ジャズの傑作として、数々の名録音が残されている。'69年のアポロ11号の有人月面着陸の際には、船内に本曲が流れていたとの伝説もある。

庵野監督は、「ナディア」の頃から「FLY ME TO THE MOON」を作品のエンディング曲に用いる事をもっており、当初の予定ではクライマックスに月面決戦が想定されていた本作品に於いて、ついに実現の運びとなった。

さらには、その回の雰囲気に合わせたものを使いたいという監督の希望から、アレンジを変え、歌手を変え様々なバージョンが作られており、「エヴァンゲリオン」TV版全26話だけでも、何と14種類もの「FLY ME TO THE MOON」が流された。大森俊之氏の編曲によるメイン・ヴァージョンは、CLAIREのヴォーカルでロンドンのアビーロード・スタジオで録音されたものだが、ボサ・ノヴァを基調とした辺りはジョー・ハーネルの直系であると言える。始まる「FLY ME～」だが、実はボサ・ノヴァ・アレンジは少数派なのだ。今回のコンサートで、鷺巣氏とマーティン・ラッセルズ氏は、どんなアレンジを聴かせてくれるのだろうか。

XIII

G. F. HANDEL: Hallelujah FROM MESSIAH

拾参 ヘンデル オラトリオ「メサイヤ」より「ハレルヤ」

第弐拾弐話「せめて、人間らしく」で出現した第15の使徒アラエルは、直接人間の心に攻撃をしかけてくる使徒であった。その心理攻撃は、光と「ハレルヤ」の合唱として表現された。使徒の精神攻撃は、弐号機パイロットである惣流・アスカ・ラングレーの心の、閉ざされた傷口を容赦なく抉る。まるで、神が人の罪を見逃さず、ものかで裁にするように。

使徒、十字架、ロンギヌスの槍など、「エヴァンゲリオン」は、キリスト教的なモチーフが多い。このエピソードは、あまりに有名なヘンデルのオラトリオの使用により、それが特に顕著になっていた。そして、「エヴァンゲリオン交響楽」も、この「ハレルヤ・コーラス」でクライマックスを迎える。

www.tokyo3cn.com